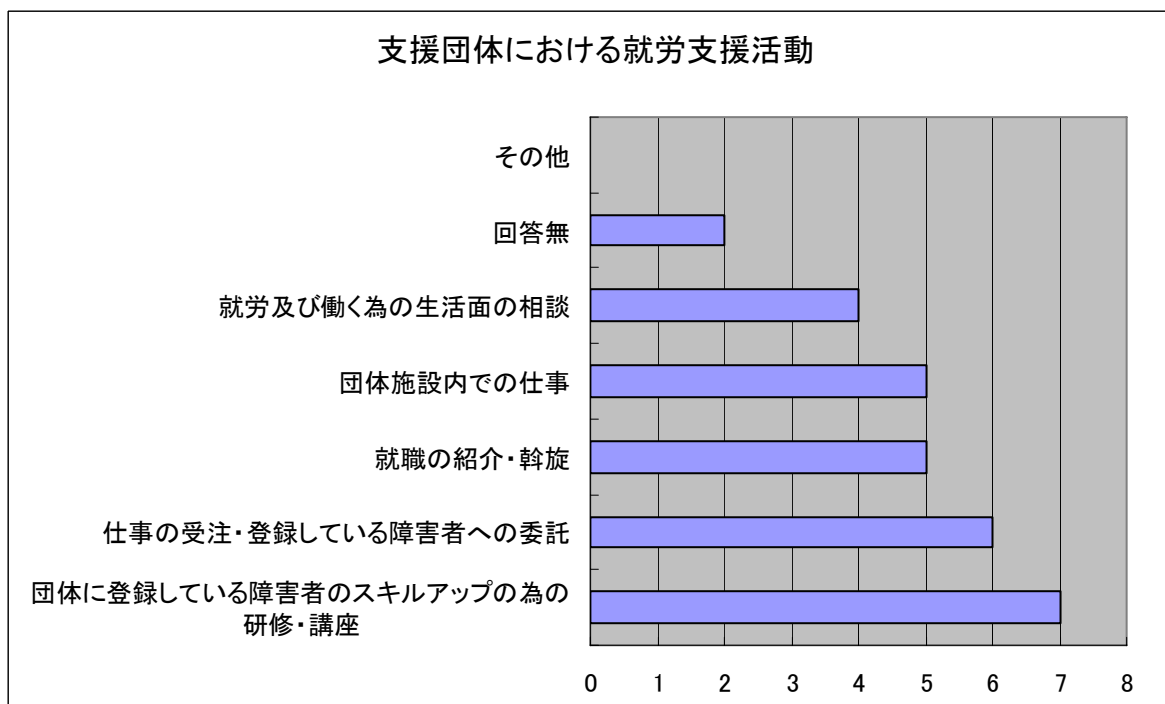
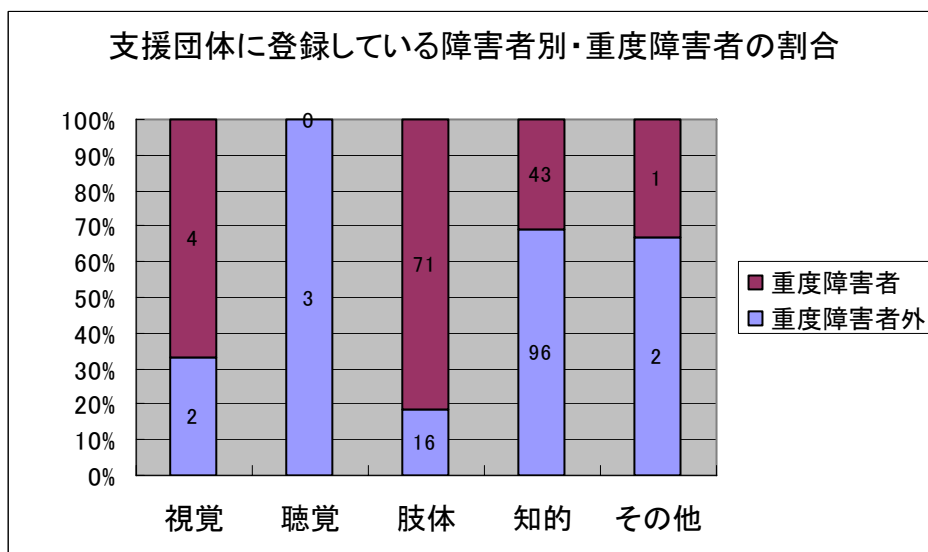


■ 支援団体の状況

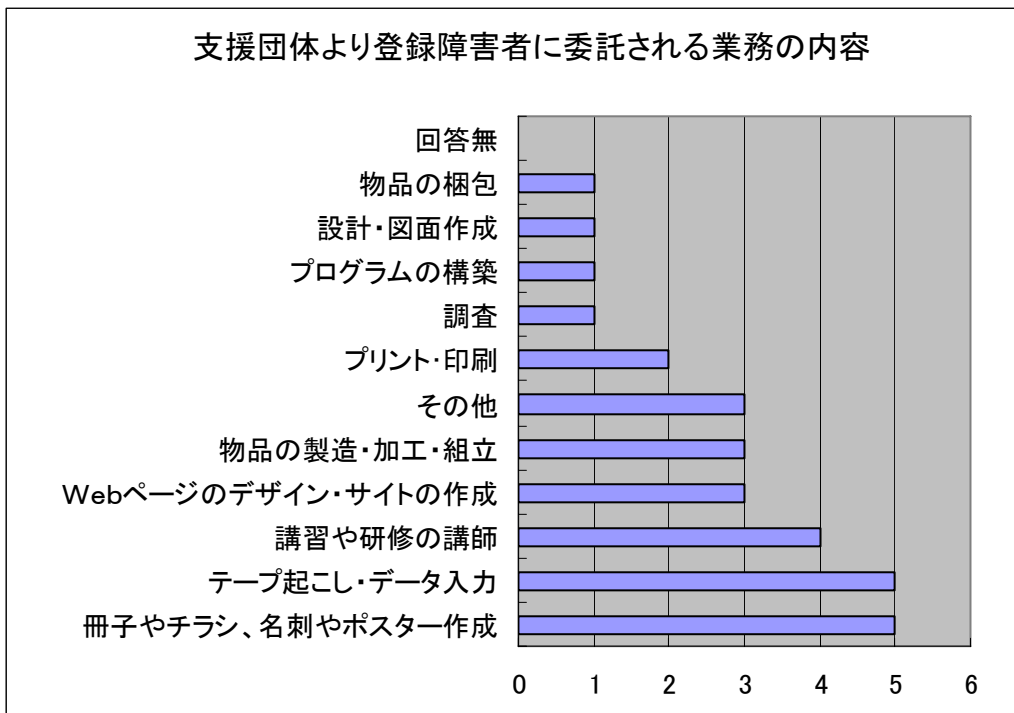
1. 就労について、どのような支援活動をされていますか。



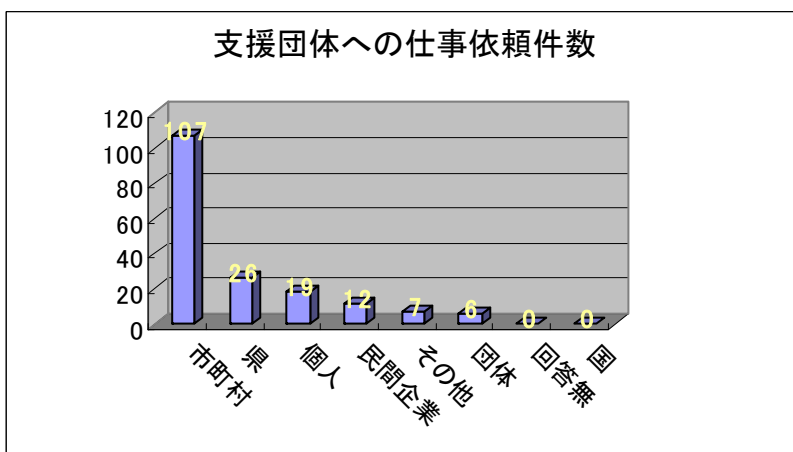
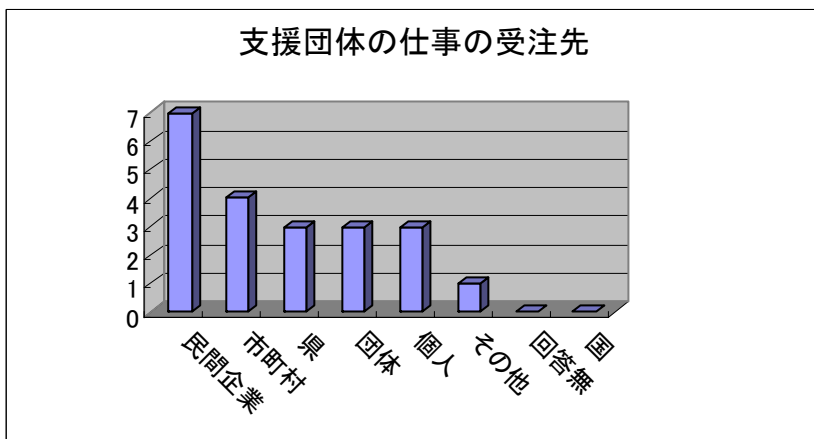
2. 貴団体に登録している障害者は現在何人ですか。



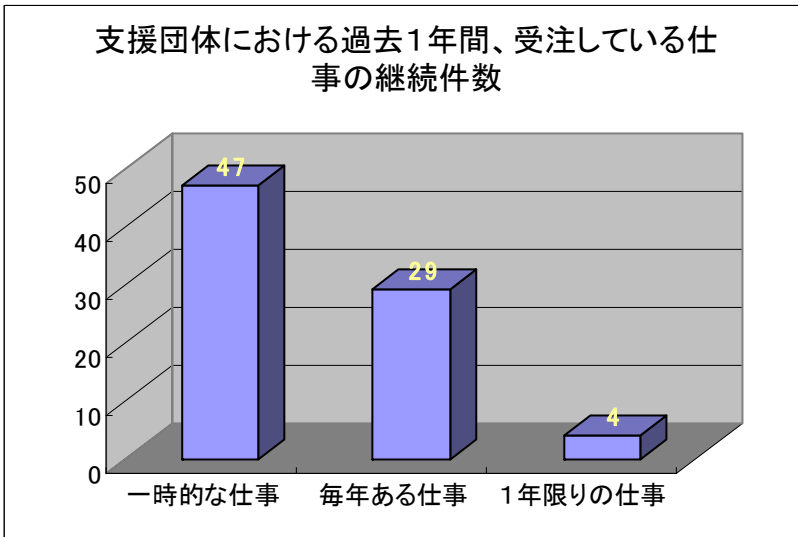
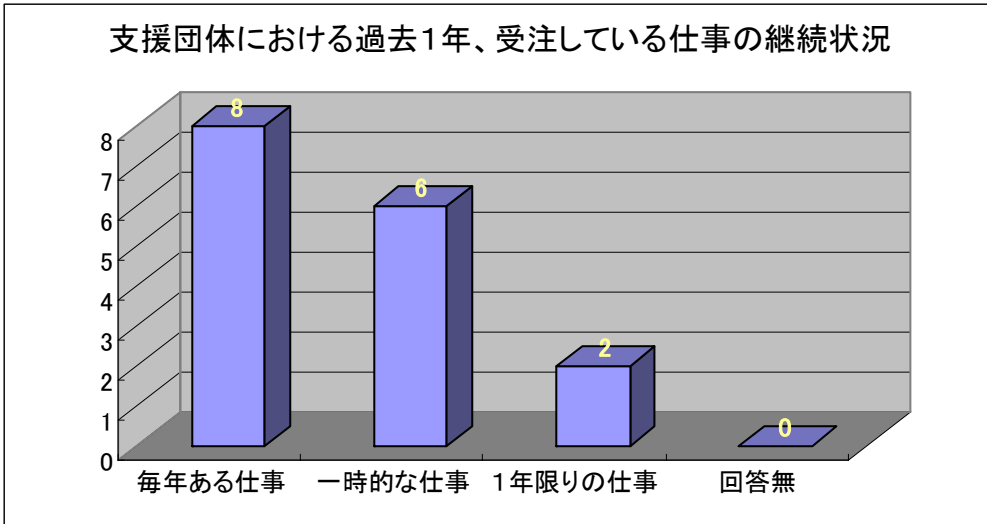
3. 登録している障害者への委託業務はどのような内容の仕事ですか。



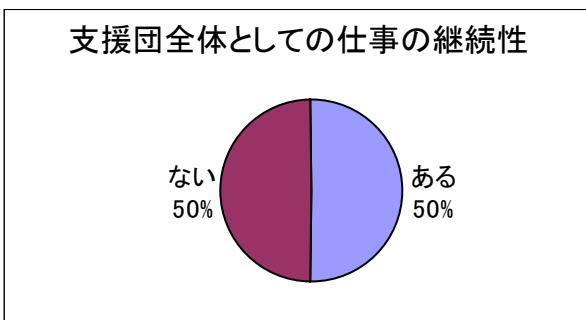
4. 過去1年、仕事はどこから受注していますか。()内は件数を記入してください。



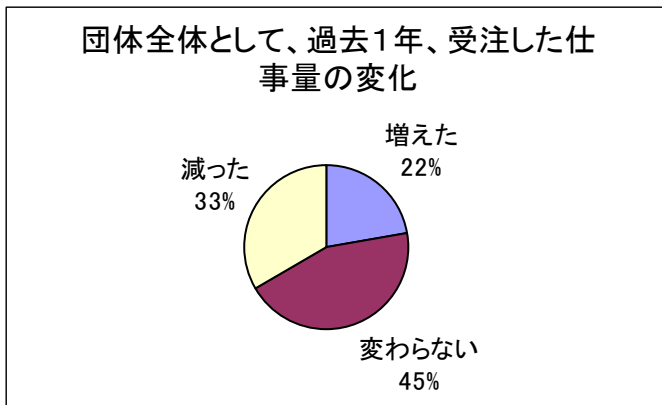
5. 過去1年、受注している仕事の継続について。()内は件数を記入してください



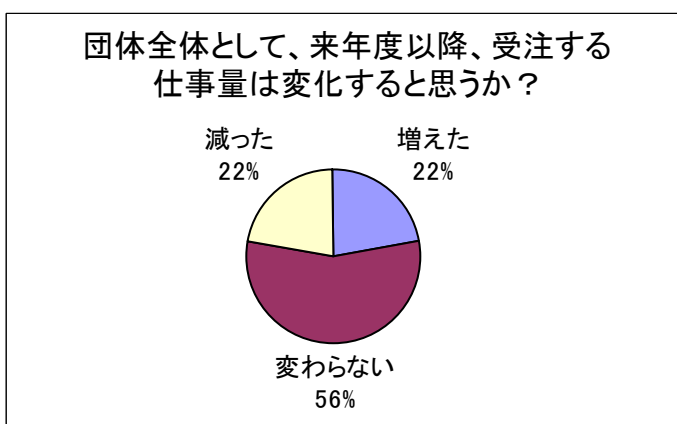
6. 団体全体として仕事は年間を通してコンスタントにありますか



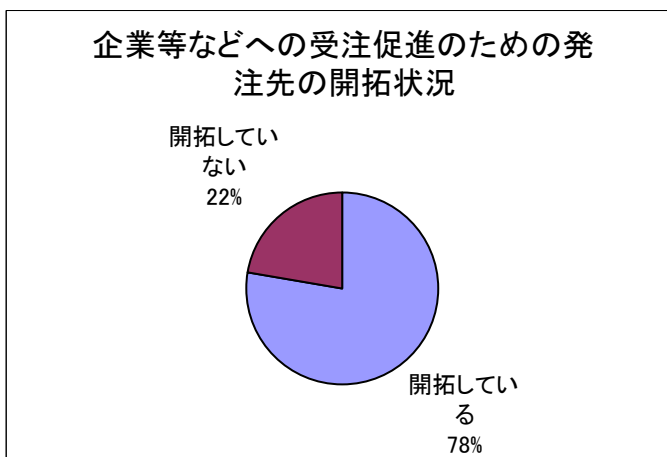
7. 団体全体として過去1年、受注した仕事量は、ここ数年と比べて変化していますか。



8. 団体全体として来年度以降、受注する仕事量は、変化すると思いますか。

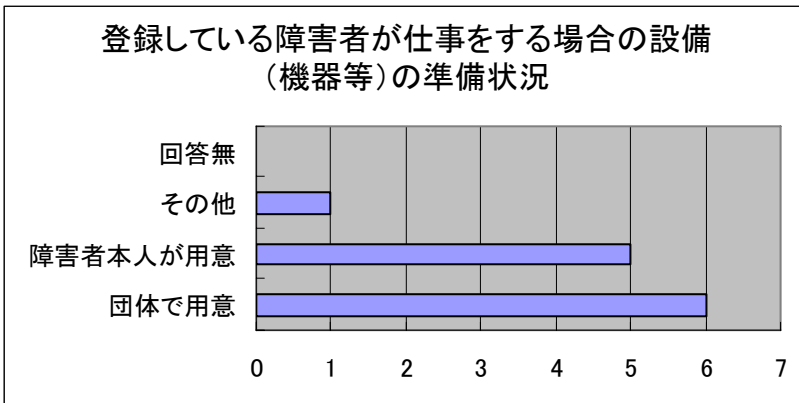


9. 企業等から仕事の受注を促進させる為に、新たな企業等などの発注先の開拓を行っていますか。

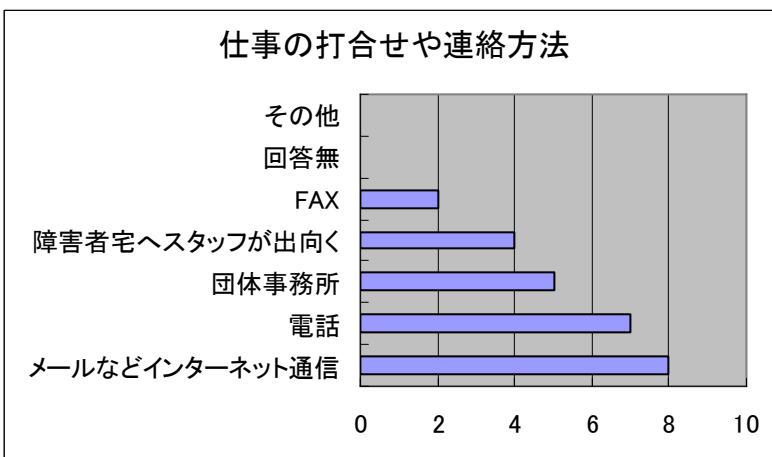


■ 登録者の業務支援について

10. 登録している障害者が仕事をするにあたり、設備（機器等）はどうされていますか。



11. 仕事の打ち合わせや連絡はどのようにされていますか。



12. 仕事をするうえで業務遂行（進捗状況・品質管理）のフォローはどうされていますか。

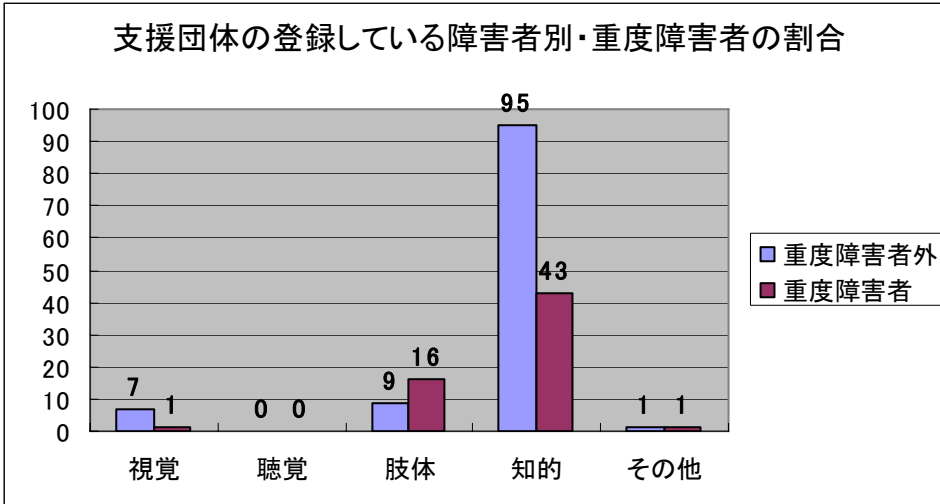
- ◇ 週に一度スタッフが訪問し、状況を確認する。
- ◇ メール(電話は極力使わない)
- ◇ 進捗は個別で管理してもらい、大幅な遅れは連絡をもらう。品質は指導員側でチェックを行う。
- ◇ 各ラインに設置されたホワイトボードに 1 日の必要作業量を記入し、進捗管理を行っている。品質管理は ISO9001 に則り行っている。
- ◇ 独自ガイドライン策定遵守・グループウェア等ツール活用・在宅ワーカー1 名をコーディネータに配置
- ◇ 電話やメールでのチェックと出向いてのフォローをしている。
- ◇ 最後の確認は当団体が責任を持って納品している

13. 一人の方が仕事を行うのは週に何日で、労働時間はおおむね何時間ですか。

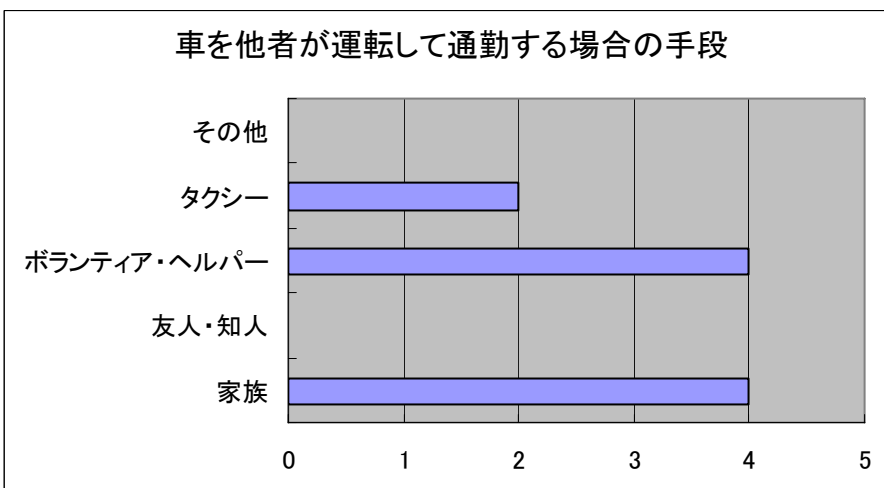
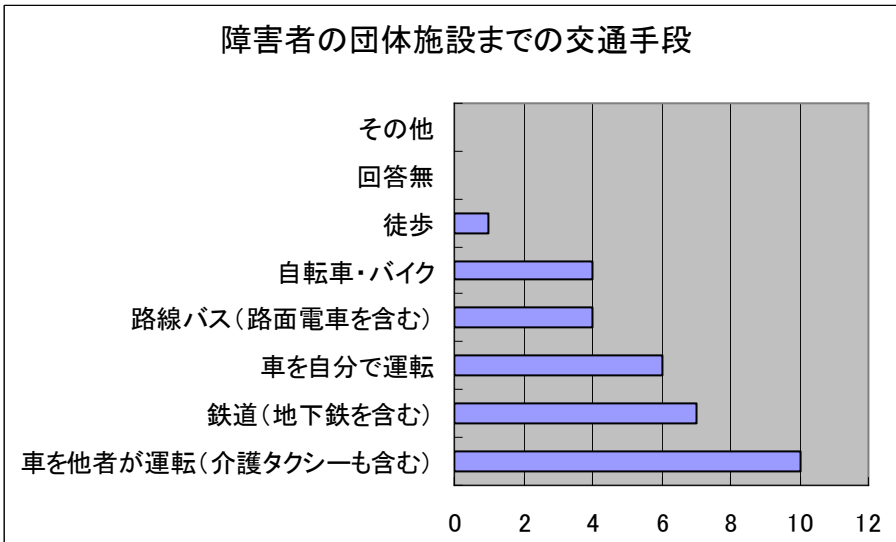
平均労働日数 4.25 日

平均労働時間 21.125 時間

14. 在宅ではなく団体施設内で仕事をしている障害者は現在何人ですか。



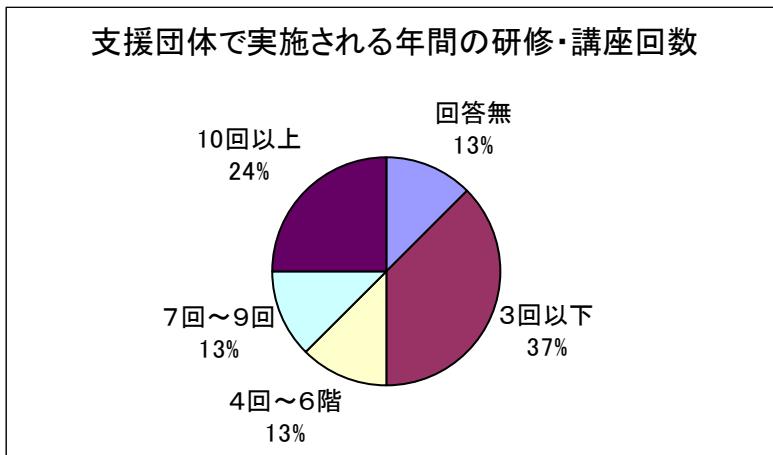
15. 障害者の団体施設までの交通手段は、主に何を利用していますか。



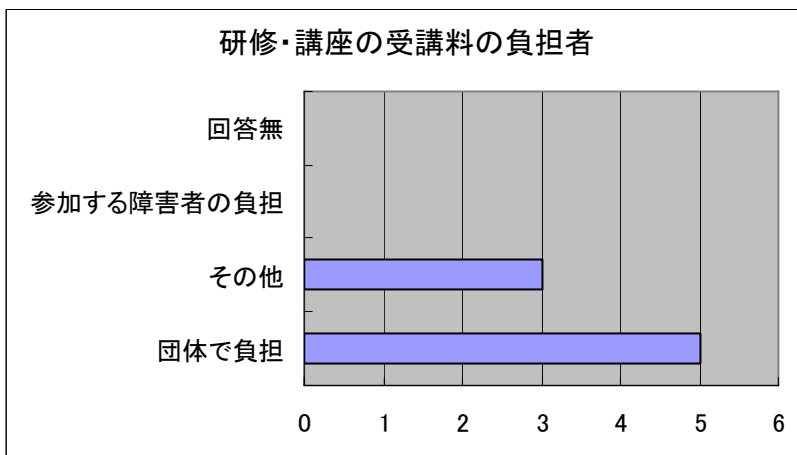
16. 団体に登録している障害者のスキルアップの為に、どのような研修や講座を行っていますか。

- ◇ 技術向上のための研修や見学
- ◇ マッサージの技術研修
- ◇ 以前はデザインの講習を行っていたが今は行っていない。
- ◇ 品質に対する勉強会、就労に必要な社会的マナーの習得、履歴書の書き方、就職面接の練習など
- ◇ Web アクセシビリティ研修等 在宅ワーカーの自主講座・e-ラーニング講習(Web制作)※対象を登録者に限定していない・在宅パソコン講座(アプリケーション・プログラマ)※
- ◇ キャド、イラストレータ、フォトショップ等のスキルアップ講座、テレマーケティング、ヘルパー2級、研修等
- ◇ 3ヶ月研修の講師アシスタントの指導者養成、新規事業ネットでスクール育成

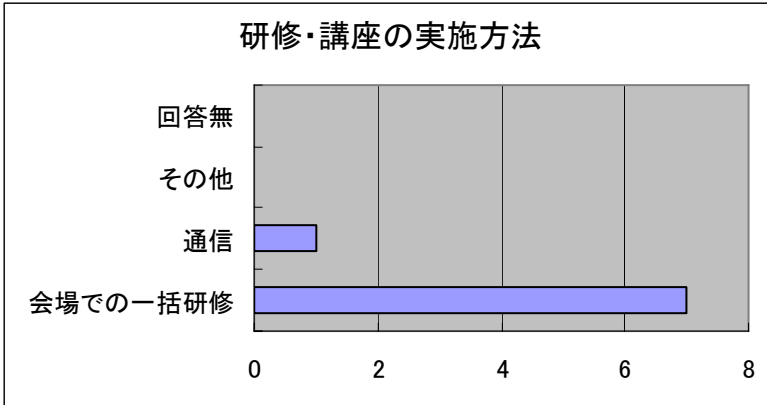
17. 研修・講座は年間を通して1年に何回を行っていますか。



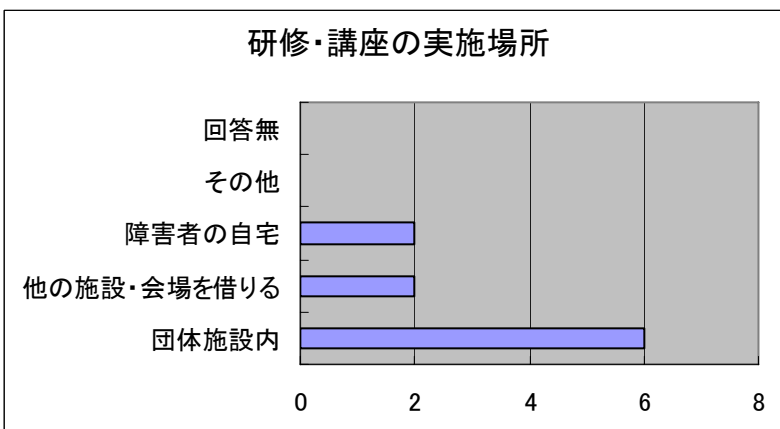
18. 研修・講座の受講料などはどのようにされていますか。



19. 研修・講座はどのような方法で行っていますか。

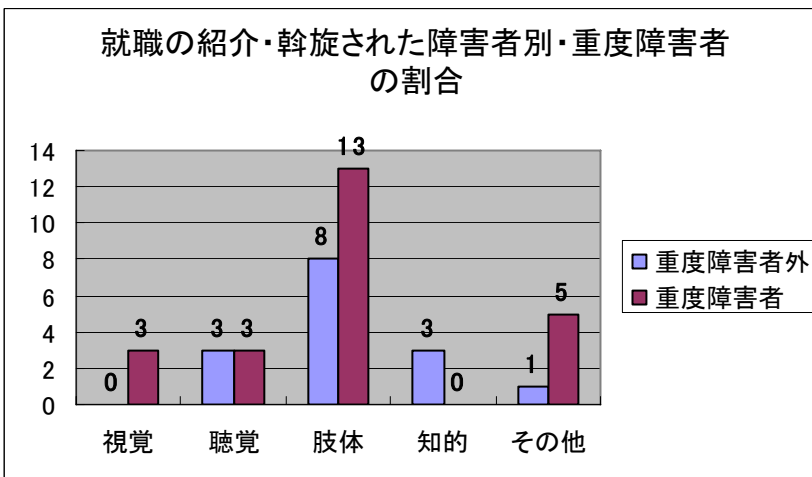


20. 研修・講座の場所はどこで行っていますか。



■ 就職の紹介・斡旋について

21. 現在までに、何人の方に就職の紹介・斡旋されましたか。



22. 紹介・斡旋された仕事はどのような内容のものですか。

職種	業務内容
データ入力	保険金領収書
事務	顧客管理等
洗車業務	車検が終了し客へ引き渡す前の洗車業務
作業所	デスクワーク

マスコミ	リサーチ等
清掃	ビルメンテナンス
テープ起こし	審議会のテープ起こし
プリント	保険お知らせ
社内 Web 作成	社内のイントラページの作成
通信	Web 制作
事務	総務及び営業の事務作業
ホームページ作成	施設からの業務
スキャニング	アンケートのイメージ化
プログラミング	Web サイトの構築
印刷	名刺印刷、PDP 等
データ入力	銀行内のバックヤード作業
名刺作成	個人依頼
DTP	カタログ作成
データ入力、テープ起こし	新聞、図書館等
事務	一般事務
物品製造	内職的な作業

■ 団体活動などについて

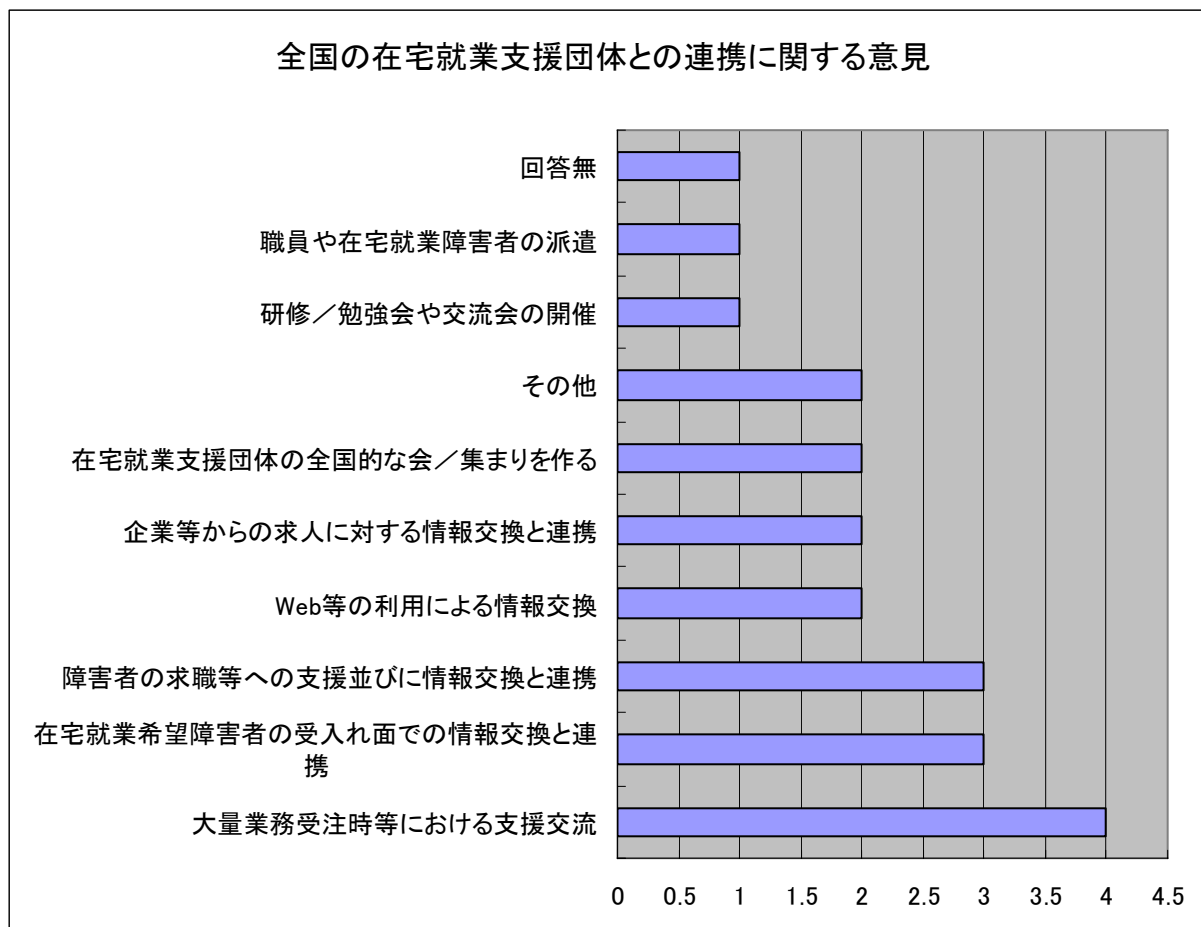
23. 今後就労に関して新たに取り組んでいく予定の事がありましたらお聞かせください。

- ◇ ウェブ系の仕事や古着の販売（ウェブを使って）など。
- ◇ 障害者の直接雇用をエントリセンターで行う予定。
- ◇ 規模を縮小している
- ◇ 現場見学、実習をさせて頂くことのできる企業の開拓。福祉施設を有効利用したい就労のレベルアップ。
- ◇ 多様な受け皿となっている登録者(またはその希望者)のニーズを把握し、福祉就労分野における在宅就労の可能性に取り組む。
- ◇ 精神障害が増えている昨今、受け入れ側として症状を理解する事が問題となっている。精神障害の学習が必要になってくると思う(専門指導者の指導が必要)

24. 厚生労働省へ登録する在宅就業支援団体制度についてご意見ありましたらお聞かせください。

- ◇ あまり情報がなく、周知もされていない。他の団体との交流の場がほしい。
- ◇ 当制度の適用組織が増えない制度が生きていない団体に対し何がしかの助成金でも出してほしい特例調整金の口数に応じた助成制度があっても良い。
- ◇ 現状では特にメリットがない。特例調整金事務を簡素化してほしい。
- ◇ 登録団体へのメリットがない現状では、制度の普及は難しいのではないか。
- ◇ 制度創設から3年以上経過しているが、この間の見直し、課題の整理がされていない。制度に対する考えや情報、用語の使い方が錯綜している現状を改める。他事業(福祉就労等)とのつながりを検討してほしい。
- ◇ 民間企業からの業務を法定雇用率に合わせて、在宅就労事業にも手を入れてほしい。

25. 全国の在宅就業支援団体が連携を取り進めることについてご意見をお聞かせ下さい。



26. 在宅就業支援団体として、企業等に対してのご意見ありましたらお聞かせください。

- ◇ 当制度は企業にとって魅力がない発注額(障害者へ)に応じた雇用率導入を望む声大
- ◇ 企業側にももう少しメリットが感じられるものでないと意味がない。
- ◇ 企業にとってのメリットが出る様な制度が必要だという事が、企業側から出てきて欲しい。企業もこの制度を勉強し認識して欲しい。
- ◇ 100万円の受注に対し、35万の助成金では、企業側からは、登録団体を選択肢に入れるメリットとしては、難しいのではないか。
- ◇ 在宅就業支援制度の根拠法における「社会連帯の理念にもとづく事業主の責務」は、雇用だけではなく発注にも当てはまるものとして(76条等)、その理解と周知に努めることが必要。同時にこの法の趣旨を理解し順守する事業主に対して、相応の社会的評価を付与すること。両者の均衡のとれた政策が望まれる。

27. その他、どんなことでもお気づきの点ご意見をお聞かせください。

- ◇ 先日も毎日新聞の岐阜支局からアンケート要請あったが返事してもなしのつづて協力したくない
- ◇ 財源もなく、人的な余裕もないので細々と支援を行う予定。
- ◇ 根本的に障害者の就労について、人権という切り口から福祉を議論すべきだと考えている。仕事をすることは企業に雇用されて始まるのではなく、どの様な形態であれ仕事であるべきである。

国連障害者権利条約の内容の議論が必要と考えている。

- ◇ 「雇用促進の一環」という役割は、どの程度社会に認知されているのか。むしろ現状は、「在宅支援団体へ」とみられ、安易な誘導が行われていないか。団体の役割を整理した上で必要と認められ、そこに公的な支えが得られるように願う。
- ◇ 障害者は特に根底に経済的自立がなければ生きていけない。財団法人への天下りなどもってのほかである、その様な予算があれば在宅就労支援団体へ目を向けて頂きたい。